

## 文化財情報の分析・活用と公開に関する調査研究 (シ05)

**目的** 東京文化財研究所で行われている調査研究に関する情報及び国内外の文化財に関するさまざまな情報について分析し、それらの情報を文化財保護に対して活用するための調査研究を実施する。また、それらの情報の効果的な公開の手法に関する調査研究を行う。

**成果** 1. デジタル画像の形成方法の研究開発

- ア) 運営費交付金や外部資金による他プロジェクトの一環として、東京文化財研究所内外において、文化財の光学的調査やガラス乾板からの画像取得を実施、成果報告書を編纂した。
- イ) 文化財アーカイブズ研究室と連携し、『奈良国立博物館・東京文化財研究所共同研究成果報告《国宝 絹本著色十一面観音像》』を2016(平成28)年12月21日にウェブ公開した。また、『春日権現験記第一巻・第二巻 光学調査報告書』を2017(平成29)年3月31日付で刊行した。
- ウ) 2016(平成28)年12月20日「文化財写真に関するワークショップ」を開催した。

2. 文化財情報基盤の整備・充実

- ア) ネットワーク機器及びソフトウェアに対し保守・監視を実施、国立文化財機構内他施設の担当者と情報交換を行いセキュリティ水準の維持・向上に努めた。また、職員の情報セキュリティへの意識向上を目的に、3回の研修を開催した。なお、所内の情報基盤整備及びセキュリティに関する業務については、各部・センターの情報システム部会員との連携により実施している。
- イ) 大容量ストレージシステムDataCoreに対し、2016(平成28)年10月及び2017(平成29)年3月にストレージサーバを追加、容量を増強した。

3. 文化財情報に関する調査研究

- ア) 文化遺産国際協力センター及び無形文化遺産部と連携して、2017(平成29)年3月13日～16日にタイ文化省文化振興局の専門家を招へいし、文化財目録に関する事例調査を行った。
- イ) これまで構築してきたウェブデータベース及びその構築過程についてまとめ、構築による情報発信力についての効果に関する調査を行い、成果を論文や学会等で発表した。

4. 東京文化財研究所が行う調査研究成果の発信

- ア) 研究情報の発信の一環としてウェブサイトの運用を実施した。28年度は、2件のウェブデータベースの新規公開、既存データベースへのデータ追加や機能改善、ウェブサイトの適宜更新を実施した。また、メールマガジン、SNS (Facebook及びTwitter) を通じて、国内外の文化財関係者に対し活動報告や催事などウェブサイトの更新情報を中心に提供した。
- イ) 2016(平成28)年6月30日付で『東京文化財研究所年報』を刊行した。編集にあたっては、各部・センターの年報部会員の協力を得た。
- ウ) 研究成果を紹介するパネルをエントランスロビーにおいて展示した。28年度は文化遺産国際協力センターによる「選定保存技術 一漆の文化財を守り伝えるために」と題した展示を実施した。また、28年度末には無形文化遺産部の担当によりパネル及び関連の小冊子を作成、2017(平成29)年3月29日にエントランスロビーでの公開を開始した。

## ウェブサイトアクセスランキング

1	東京文化財研究所トップページ	6	久野健資料
2	『日本美術年鑑』所載物故者記事	7	『美術画報』所載図版データベース
3	ガラス乾板データベース	8	黒田記念館トップページ
4	『保存科学』	9	黒田清輝日記トップページ
5	『日本美術年鑑』所載美術界年史彙報	10	黒田清輝日記(日付別)

(平成28年度 上位10位まで)

## ウェブサイトの主な更新履歴

年月日	更新内容	関係部局
16.4.20	研究会「アート・アーカイブのいま」開催	文化財情報資料部
16.4.27	「ネパールにおける文化遺産被災状況調査事業成果概要報告書」掲載	文化遺産国際協力センター
16.5.2	「ミャンマーにおける文化遺産保護に関する拠点交流事業報告書」掲載	文化遺産国際協力センター
16.5.12	「ミャンマーの木造建築文化」掲載	文化遺産国際協力センター
16.5.12	「東南アジアの遺跡保存をめぐる技術的課題と展望」掲載	文化遺産国際協力センター
16.6.6	デジタルブック版『洋紙の保存と修復』公開	保存科学研究センター
16.6.7	"Workshops on Conservation and Restoration of Urushi objects 2016" 参加者募集	文化遺産国際協力センター
16.6.10	フィルム原板データベース公開	文化財情報資料部
16.6.10	『第一回特別展覧会目録、第二回特別展覧会目録〔合本〕』掲載	文化財情報資料部
16.9.7	無形文化遺産（伝統技術）の伝承に関する研究会Ⅲ「現在に伝わる明治の超絶技巧」開催	無形文化遺産部
16.10.16	第50回オープンレクチャー開催	文化財情報資料部
16.10.12	中村傳三郎旧蔵資料データベース公開	文化財情報資料部
16.10.17	シンポジウム「シリア内戦と文化遺産―世界遺産パルミラ遺跡の現状と復興に向けた国際支援―」開催	文化遺産国際協力センター
16.12.21	奈良国立博物館・東京文化財研究所共同研究成果報告《国宝 絹本着色十一面観音像》公開	文化財情報資料部
16.12.27	"Workshops on the Conservation of Japanese Art Objects on Paper and Silk" 参加者募集	文化遺産国際協力センター
17.1.10	国際研修「紙の保存と修復 2017」参加者募集	文化遺産国際協力センター
17.1.24	公開研究会「南蛮漆器の多源性を探る」開催	文化財情報資料部
17.1.31	研究会「考古学的知見から読み取る大陸部東南アジアの古代木造建築」開催	文化遺産国際協力センター
17.2.8	"International Course on Conservation of Japanese Textile" 参加者募集	文化遺産国際協力センター
17.3.10	文化財情報資料部 研究会「遊行上人縁起絵の諸相」開催	文化財情報資料部

(定期刊行物の公開、活動報告、公募情報を除く)

- 論 文・福永八朗：「東京文化財研究所の文化財データベース―刊行物アーカイブを中心とした、アーカイブ・データベースの目的、要件およびその実現の方法について」『美術研究』419 pp.17-26 16.6
- ・小山田智寛ほか：「ウェブデータベースによる画像情報の公開―尾高鮮之助調査撮影記録を例に―」『保存科学』56 pp.155-164 17.3
- 発 表・福永八朗：「東京文化財研究所の広域ネットワークを利用した取り組み」広帯域ネットワーク利用に関するワークショップ「ADVNET2016」 16.10.14
- ・城野誠治「文化財写真に必要とする情報―写真で何を捉えられるのか―」文化財写真に関するワークショップ 16.12.20 ほか2件
- 刊行物・『春日権現験記第一巻・第二巻 光学調査報告書』17.3

- 研究組織 ○二神葉子、佐野千絵、津田徹英、塩谷純、小林公治、小林達朗、皿井舞、安永拓世、橘川英規、城野誠治、福永八朗、小山田智寛、高橋佑太、竹花真由子、谷口每子、芦立麻衣子（以上、文化財情報資料部）
- 広報委員（情報システム部会）：佐野千絵（文化財情報資料部長）
- 各部署情報システム部会員：中村恵、中濱拓郎（以上、研究支援推進部）、安永拓世（文化財情報資料部）、飯島満（無形文化遺産部）、吉田直人（保存科学研究センター）、加藤雅人（文化遺産国際協力センター）
- 広報委員（年報部会）：佐野千絵（文化財情報資料部長）
- 各部署年報部会員：安川政和、林昌宏（以上、研究支援推進部）、小林公治（文化財情報資料部）、久保田裕道（無形文化遺産部）、吉田直人（保存科学研究センター）、江村知子（文化遺産国際協力センター）